

ここでクルマを製作
ESPERANZA motor service
●〒352-0016 埼玉県新座市馬場2-6-5
●tel:048-478-6485 ●fax:048-478-6826

エスペランサは三宅さんがひとりでやっているチューニングショップ。取扱車種はNAターボ国産輸入車問わず、何でもやってしまう職人。イケメンの三宅さん、不惑の年には程遠いのだが、我々の企画に賛同してくれ、快く車両製作を引き受けてくれた。その豊富な知識と経験、そして何よりもセンスが素晴らしいのだ。この人こそプロチューナーの中のプロチューナー。

ベンツ兄弟船 でレース参戦!!

第2回

190E 2.3-16で目指すはセパン24時間!?

不惑の年からのプロレーサー育成講座

文・取材●Office WH 撮影●村上 聰
取材協力●スピードジャパン tel:03-3555-8865
http://www.speedjapan.co.jp
エスペランサ tel:048-478-6485
G-SONIC http://www.g-sonic.jp/

オートマからマニュアルへ パーツ100点組み上げ開始!



約100点の パーツ

これが第1回目のモデルファイア、トランスマッショントラムからマニュアルへと変更するためのパーツ。全部で約70種、計100点以上のパーツ群だ。長さが違うプロペラシャフトは加工する予定。フライホイールは欠品のためスピードジャパン・小澤がベルリンまで飛んで購入してきたのだ。

クルマを用意したGソニック、パート用意したスピードジャパン、そしてそれをレース仕様に作り上げるエスペランサ。多くの人たちの協力で、ついに190E 2.3-16でのレースデビューが本格始動。

先月号での予告通り、今月からは実際の作業に移ることにする。まずはオートマからマニュアルへの変更。言葉にすれば簡単だが、これがまた非常にやっかい。マニュアルのトランスマッショントラムを探すこと

がまず大変で、探したら探したで、マニュアル

仕様にするための各部パーツの選定から発注までが地獄だ。普通なら解体車から移植するなどの手が一般的。だから細かいパーツがめちゃめちゃ複雑に絡み合い、組み立てが面倒なシフトノブ周辺も苦労しないでOKとなる。

でも今回はミッション単体での購入。

当然シフトノブやペダル類など、新品

を発注して、すべて自分の手で組み上

げていくのだ。見てるだけで気が遠

くなる。ちなみに、マニュアルに変更

するためにスピードジャパンの小澤さ

んが用意してくれたパーツは約70種、

計100点以上。これをイチから組み

上げていくのだ。まさに1分の1スケ

ールモデル。こんな面倒くさい作業、今までやつたことある人いるか？不安的中。小澤さんが用意した100点ほどのパーツだが、これだけではまだ足りない。フライホイールとプロペラシャフトが製造中止。さてどうする？困惑するメンバーを見て、男・小澤が動いた。ベルリンへと飛んだの

だ。趣味として個人でパーツを抱えて

いる人物がベルリンにいるとの情報を

ゲットし、わざわざ購入してきたのだ。

問題はまだある。プロペラシャフト

だ。マニュアルはミッションケースの

長さがオートマより5cmほど短い。

つまりプロペラシャフトの長さが足りない

ことが判明。パート取り車があれば問題ないが、たまにオーバーショーンなどに出てもバカ高い。さて、どうする？するとエスペランサ三宅が言う。

「長さ測つて加工しましょう。簡単ですよ。1週間くらいでOKです」

イヨッ職人！さすがチューニング界の若きカリスマ、心強いですね。そんなこんなで一発目の本格的作業開始。時はお昼の12時。メンバーも手伝おうとするが、何を、どこを、いつ、やりのか検討もつかん。とりあえずエスペランサ三宅の邪魔にならないことが第一。エスペランサ三宅はそんな頼りないメンバー（主にチャ武と古Q）で



ミッションの取り外し

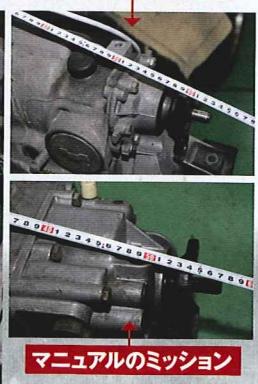
まずはミッションを取り外す作業。メンバーも手伝おうとするが、逆に邪魔になりそうなのでエスペランサ三宅がひとりで黙々と作業。約2時間ほどでミッションを外しました。



Exchange Unit?
ミッションを外してみたら意外と大きい。不思議に思って確認したらExchange Unitのステッカーが。

ミッション2基を 比べる

台座に載ったオートマ用ミッションと床にあるマニュアル用を見比べるチャ武と古Q。何だか違和感あるなあ。調べてみると、マニュアル用が5cmちょっと短いことが分かった。このままだとプロペラシャフト（新品は製造中止で入手不可）が付かない。するとエスペランサ三宅「加工すればOKですよ、簡単ですよ」との心強い言葉。さすがチューニング界の若きカリスマ。



オートマのミッション

マニュアルのミッション

「…」をよそに黙々と作業を続ける。ミッションオイルを抜きマフラーを外しミッションケースを緩める。20年も前のクルマだから、すべてが硬い。ネジも回らない。焦ることなく慎重に、かつ大胆に。プロペラシャフトの前後に付くディスクジョイントを緩め、スロットルワイヤーやらスターターモーターやらミッションケースに繋がっている各パーツを外していく。

「三宅さん、 kiriiいいところでメシ行きましょメシ」と吉Q。

ご近所にある定食屋さんでショウガ焼きなど頑張りながら作戦会議。ミッション下ろした後は、2ペダルから3ペダルへの変更、そしてシフトノブ周

辺の組み立てと取り付け。最終的にミッションを一度載せて、プロペラシャフトの長さを探寸して終了の予定。腹もいっぱいになつたことだし、気合を入れ直して作業再開。プロペラシャフトを後方へとズラしながらミッションを下へと抜いた。時間は15時ジャスト。昼メシ1時間引いて約2時間でミッションが取り外せた。ちなみに作業に関わったのは三宅さんひとり。

さて休むことなくペダルとシフト

何ですとおおお！ メンバー総出でパートチエック開始。どうやらクラッチのラインとシフト周辺の小さな小さな凸型のパーツが足りない？ レリーズベアリングもない？ これは中古のミッションを購入したことでのつかり新規頼むのを忘れてた。残り2点もうつかりミス。そりやそだよ。100ミリをやりましょう」と三宅さん。

「じゃあ今日は残りのパーツにも漏れがないかすべてチェックして、次回の作業の準備して解散つてことで」

こうしてミッション交換第1回目の作業は終了した。次回はこの続き&ブレーキなどの足回り、エアロパーツの選定、シート取り付けなどを予定して

ます。お楽しみに！

だ。小澤さんが用意してくれた資料を参考にしながらパーツを探し出し組み上げていく…が、何だか三宅さんの様子がおかしい。食あたりか？ 「うーんパーツが足りないような…」

今後の予定を話し合うメンバー。左からチャ武(ドライバー&プロデューサー)、スピードジャパン小澤(パーツ提供&アドバイザー)、ボス松原(車両提供&ドライバー)、エスペランサ三宅(クルマ製作担当)。ドライバー&何でも屋の古Qはトヨタ車、キャニギャル大谷は欠席。

ハッパツアラジナ 不惑の年メンバー



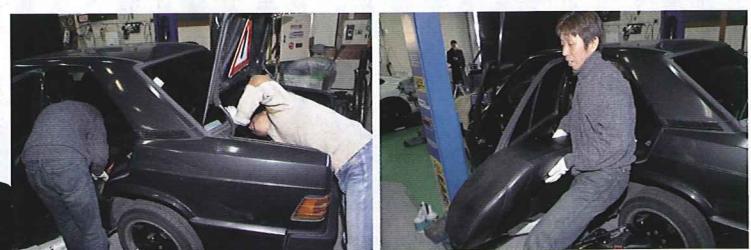
ペダルの変更

2ペダルから3ペダルへの変更。みんなで資料見ながら組み立て……ようと思ったら、なんとパーツがひとつ足りないことが判明。クラッチのラインがない。エスペランサ三宅、慌てることなくGT-Rのメッシュホースを代用して加工。無事3ペダルへと変身しました。



シフト周辺の組み立て

今回の作業で一番パーツ点数の多いシフトノブ周辺の組み立て。普通はパーツ取り車から丸ごとユニットで外してポン付けだろうけど、パーツ取り車がめちゃめちゃ高いので、今回はイチから新品パーツで組み立てます。が、ここでも足りないパーツが…。74番の凸型の蓋みたいな樹脂製のパーツで、シフト根本のバネを抑える役目らしきモノ。速攻スピードジャパン小澤が追加発注。ということで今回はここまで。来月は足りないパーツが届くプロペラシャフトの加工が終わったらミッションを載せ替え試乗します。



小銭発見

エスペランサ三宅が働いている間、メンバーも頑張りますよ。内装の取り外し。シート下からは合計1500円ほどの硬貨を発見。ジュース代にします。

